

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年																			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月 ~7日	5月 ~14日	5月 ~21日	5月 ~28日	6月 ~4日	6月 ~11日	6月 ~18日
カンピロバクター	69	64	99	99	47	48	99	77	32	48	30	46	63	7	25	6	19	11	13 (1)	19
病原性大腸菌	62	88	90	30	53	40	44	45	81	47	37	55	103	7	51	32	30	27	25 (3)	26
腸管出血性大腸菌	0	1	1	10	2	0	2	0	0	1	1	4	1	0	0	0	0	0	1	0
サルモネラ	5	5	3	16	12	12	14	5	3	7	2	2	7	0	2	0	5	3	5	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	20	32	22	26	19	13	20	18	11	15	10	13	14	6	7	1	7	1	2	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	19	28	9	17	18	15	16	20	14	13	10	14	15	3	3	2	6	3	1	3
腸炎ビブリオ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	3	4	1	5	4	1	2	1	1	2	0	0	0	0	0	1	1	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	5	7	3	2	2	6	0	0	1	2	0	0	0	2	1	1	0
ノロウイルス	2	0	0	1	0	0	0	1	2	14	11	6	1	0	0	1	0	0	0	0

\* ( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第24週(6月12日~6月18日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	11	結核	11		2	2		3	3	1
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2	1				1		
四類	8	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	1						1	
		日本紅斑熱	5	1		2			1	1
		レジオネラ症	2					2		
五類	17	アメーバ赤痢	1					1		
		ウイルス性肝炎	1					1		
		百日咳	1	1						
		梅毒	14	3	1			9	1	

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり3.31人の報告があり、前週と比べるとほぼ横ばいです。手洗い、換気など、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

2 ヘルパンギーナ

定点当たり1.50人の報告があり、増加が続いています。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

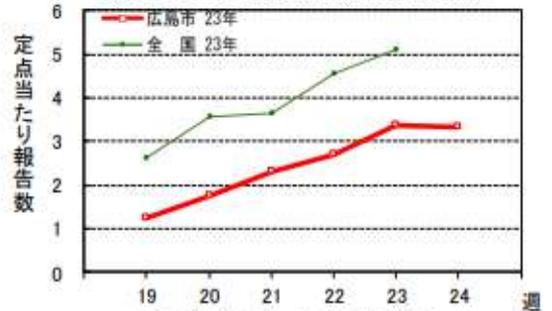
3 RSウイルス感染症

定点当たり3.50人の報告がありました。前週と比べるとほぼ横ばいですが多い状況です。

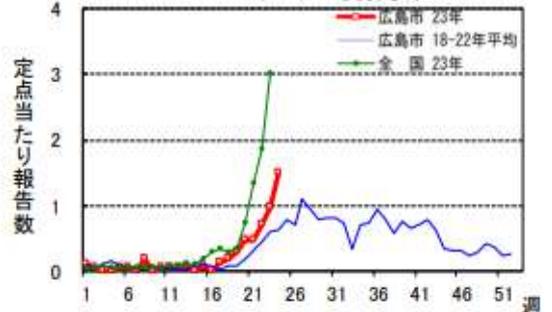
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり3.79人の報告があり、多い状況です。県内では、北部保健所管内で定点当たり8.50人(第23週)と警報開始基準値(定点当たり8)を上回ったため、広島県は6月15日、県内に「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報」を発令しました。感染予防には、患者との濃厚な接触を避けることや、手洗いなどが有効です。

新型コロナウイルス感染症の流行状況



ヘルパンギーナの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね	
														↑	↓	1:2以上の増減	1:1.5~2の増減
インフル	インフルエンザ	69	1.92	-	-	→	小児科	ヘルパンギーナ	36	1.50	0.63	-	↗	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減	
	新型コロナ(COVID-19)	119	3.31	-	-	→		流行性耳下腺炎	2	0.08	0.06	-	→	↑	↓	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減	
小児科	RSウイルス感染症	84	3.50	0.79	-	→	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	→	↑	↓	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	
	咽頭結膜熱	9	0.38	0.63	-	→		流行性角結膜炎	4	0.50	0.60	-	→	↑	↓	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	91	3.79	1.36	-	→	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	→	↑	↓	ほとんど増減なし	
	感染性胃腸炎	119	4.96	4.52	-	↘		無菌性髄膜炎	-	-	-	-	→	↑	↓	ほとんど増減なし	
	水痘	3	0.13	0.27	-	→		マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	→	↑	↓	ほとんど増減なし	
	手足口病	9	0.38	1.99	-	→		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	-	→	↑	↓	ほとんど増減なし	
	伝染性紅斑	-	-	0.07	-	→		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	→	↑	↓	ほとんど増減なし	
	突発性発しん	7	0.29	0.41	-	→											

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	58	40歳代、60歳代、80歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	9	10歳代・O157
4	レジオネラ症	2	13	60歳代・市外、70歳代
5	アメーバ赤痢	1	4	50歳代
5	ウイルス性肝炎	1	3	20歳代
5	梅毒	9	126	20歳代・5人、30歳代・2人、40歳代・1人、50歳代・1人